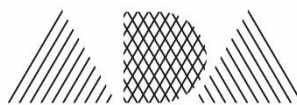


2024年4月26日

未来へ繋ぐ建築を発掘するコンテスト

「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2024」募集開始

ケイミュー株式会社(本社：大阪府中央区、社長：木村均)は、「未来へ繋ぐ建築を発掘する」をテーマにしたアワード「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD」を開催しており、昨年度も多数のご応募を頂きました。4月26日からは新しく「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2024」として作品募集を開始します。美しく、新しく、景観に配慮した意欲的な作品を広く募集し、藤本壮介氏、永山祐子氏、成瀬友梨氏のトップランナー建築家3名を、本年度も引き続き審査員としてお迎えして作品を厳選します。



ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2024 presented by KMEW

企画の背景

当社は昨年設立20周年を機に、商品をつくるだけでなく、街並みをつくり、都市をつくり、この社会の未来をつくっていく企業となることを目指し、施工事例コンテストも「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD」として、業界を代表するコンテストとなれるよう、装いも新たにスタートさせました。

コンセプトは「未来へ繋ぐ建築を発掘する」とし、デザイン的な美しさはもちろん、街並みや景観に対する心配り、設計面のごこだわりなど、建物としてのクオリティの高さを総合的に評価します。

なお、初回の昨年度は530点の応募があり、その中から各賞11点を選出。本年度は昨年に引き続き3名の審査員を迎え、2回目の開催となります。

作品募集・審査

「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2024」は、2023年9月1日～2024年7月31日までに完工し、当社商品（カタログ掲載品）を使用した物件を対象に、2024年7月31日まで募集します。

審査基準は①建築デザインとしての美しさ・新しさを感じられること②街並みや景観に対して配慮された作品であること、の2点で、施工写真や設計要旨から総合的に判断します。

審査員は、昨年度に引き続き、国内外で活躍されている建築家 藤本壮介氏、ドバイ国際博覧会日本館を手掛けた永山祐子氏、店舗・集合住宅などの設計を広く手掛ける成瀬友梨氏ら、建築家のトップランナー3名に、お引き受けいただきました。

なお、本年度の表彰式は東京都新宿区「東急歌舞伎町タワー」で開催予定。「建築を未来に残す」という「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD」のコンセプトの一環として選定しました。

当社では、こうした活動をさらに広げ、街や社会の美しい未来に貢献できるよう努めていく考えです。

「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2024」開催概要

- 応募期間： 2024年4月26日～7月31日
- 対象物件： 2023年9月1日～2024年7月31日までに完工した物件
ケイミュ-商品（カタログ掲載品）を使用した物件
- 審査基準： 建築デザインとして美しさ・新しさを感じられること。街並みや景観に対して配慮された作品であること。
施工写真や設計要旨から総合的に判断し審査
- 予定している各賞
 - 最優秀賞 1件 50万円
 - 優秀賞 5件各 20万円
 - 特別賞 2件各 10万円
 - ケイミュ-賞 3件各 5万円
- 表彰式： 11月中旬または下旬。「東急歌舞伎町タワー」にて開催予定
- 案内ホームページ： https://www.kmew.co.jp/arc_design_award2024

審査員プロフィール



(c) David Vintiner

藤本 壮介（フジモト ソウスケ/Sou Fujimoto）

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・ブラン）に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、2025年日本国際博覧会の会場デザインプロデューサーに就任。

2021年には飛騨市のCo-Innovation University（仮称）キャンパスの設計者に選定される。

主な作品に、ブダペストのHouse of Music（2021年）、マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設（2021年）、白井屋ホテル（2020年）、L'Arbre Blanc（2019年）、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013（2013年）、House NA（2011年）、武蔵野美術大学 美術館・図書館（2010年）、House N（2008年）等がある。



永山 祐子 (ナガヤマ ユウコ/Yuko Nagayama)

1975年東京生まれ。1998年昭和女子大学生活美学科卒業。1998年青木淳建築計画事務所勤務。2002年永山祐子建築設計設立。主な仕事、「LOUIS VUITTON 京都大丸店」「豊島横尾館」「ドバイ国際博覧会日本館」「JINS PARK」「膜屋根のいえ」「東急歌舞伎町タワー」など。JIA 新人賞（2014）、World Architecture Festival 2022 Highly Commended（2022）、iF Design Award 2023 Winner（2023）など。

現在、2025年大阪・関西万博にて、パナソニックグループパビリオン「ノモの国」と「ウーマンズパビリオン in collaboration with Cartier」（2025）、東京駅前常盤橋プロジェクト「TOKYO TORCH」などの計画が進行中。



成瀬 友梨 (ナルセ ユリ/Yuri Naruse)

1979年愛知県生まれ。2007年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 博士課程単位取得退学。

2007年猪熊純氏とともに成瀬・猪熊建築設計事務所設立。主な作品に「お宿 Onn 中津川」「LT 城西」「Dance of light」。主な受賞に、2015年日本建築学会作品選集新人賞、第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 出展特別表彰、大韓民国公共デザイン大賞 国務総理賞、AACA 賞 2023 優秀賞。主な著書に、『シェア空間の設計手法』、『子育てしながら建築を仕事にする』

<http://www.narukuma.com>

<本件に関するお問い合わせ先>

ケイミー株式会社 経営企画部 TEL : 06-6945-8146 E-mail : kmew-koho@kmew.co.jp